

令和6年度所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗管理表

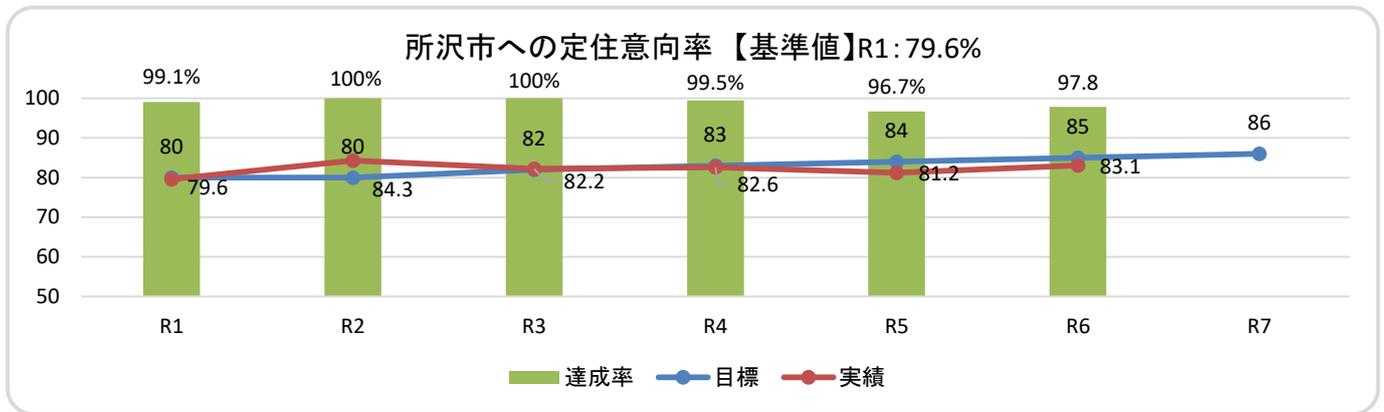
戦略方針(1)まちの魅力をUP

【基本目標】所沢市の魅力を高め、住みたいまち、訪れたいまちを目指します

■関連する重点プロジェクト

- (1)「COOL JAPAN FOREST構想」の推進
- (4)「水とみどりがつくるネットワーク」の構築

戦略指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
所沢への定住意向率 (市民意識調査)	目標	80	80	82	83	84	85	86	%
	実績	79.6	84.3	82.2	82.6	81.2	83.1		%
	達成率	99.1	100	100	99.5	96.7	97.8		%



【重要業績評価指標(KPI)】

その1 まちの魅力をさらに高める									
①所沢駅の1日平均乗降客数	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位	
②野老澤町造商店が開催するイベント参加人数	82,456	3,782	6,302	25,360	36,034	40,254		人	
③東所沢駅の1日平均乗降客数	15,088	12,056	13,345	14,281	14,903	15,539		人	
その2 まちの魅力を発信する									
①Facebook(広報課)の充実度(いいね!の数)	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位	
②観光客数	1,485	1,631	1,683	1,782	1,810	1,848		人	
②観光客数	5,973,445	2,502,709	4,763,779	7,445,732	8,240,677	7,765,568		人	
その3 まちに対して愛着や誇りを持ってもらう									
①市の愛着度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位	
②とことろ景観資源の指定件数	87.1	88.5	87.6	89.0	87.9	89.0		%	
③新たに確保するみどりの面積	194	215	227	235	238	237		件	
④都市公園の整備面積	86.16	96.83	97.39	105.05	105.56	107.77		ha	
④都市公園の整備面積	142.12	142.49	146.10	146.10	146.18	147.00		ha	
⑤文化芸術・伝統文化に関する施策の満足度	18.5	19.0	18.9	18.9	16.3	16.60		%	

令和6年度所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗管理表

戦略方針(2)産業の力をUP

【基本目標】産業や雇用を創出し、就業者数の増加を目指します

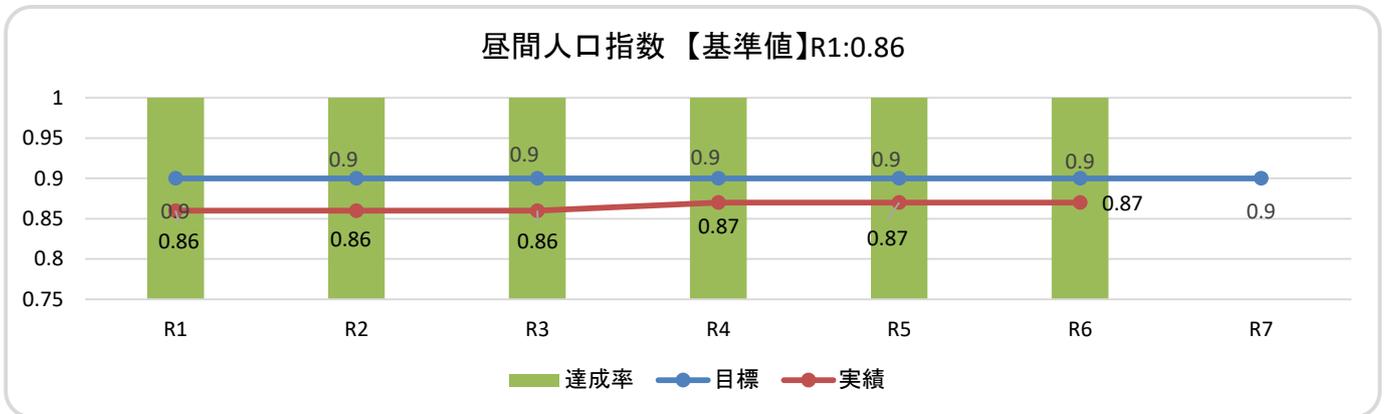
■関連する重点プロジェクト

(2)「産業用地創出」による産業振興

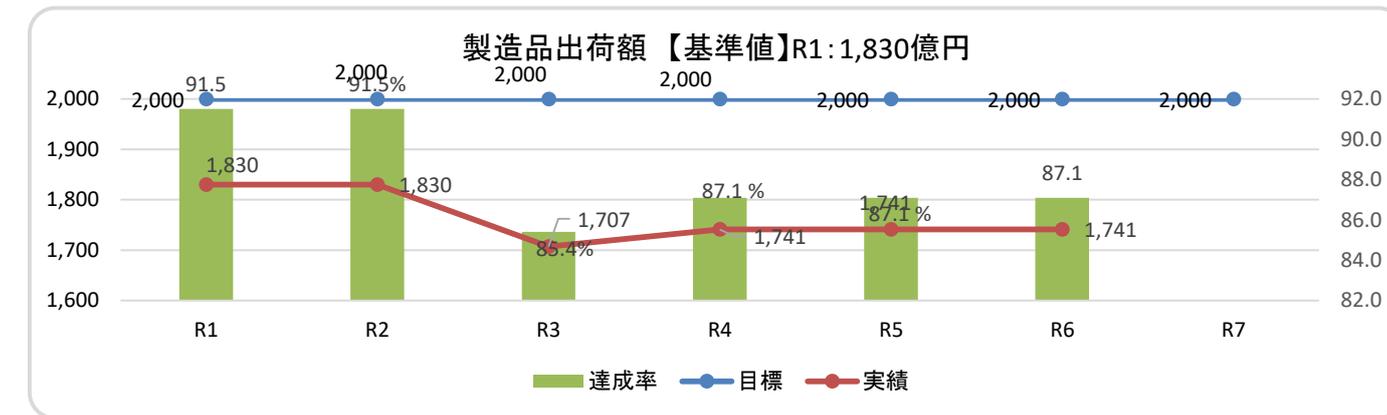
(3)「所沢駅周辺」の開発とまちの活性化

※国勢調査(5年)毎に更新

戦略指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
昼間人口指数 (国勢調査)	目標	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	
	実績	0.86	0.86	0.86	0.87	0.87	0.87		
	達成率	95.56	95.56	95.56	96.67	96.67	96.67		%



戦略指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
製造品出荷額 (工業統計調査)	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	億円
	実績	1,830 (H29)	1,830 (H29)	1,707 (R1)	1,741(R3)	1,741(R3)	1,741(R3)		億円
	達成率	91.5	91.5	85.4	87.1	87.1	87.1		%



【重要業績評価指標(KPI)】

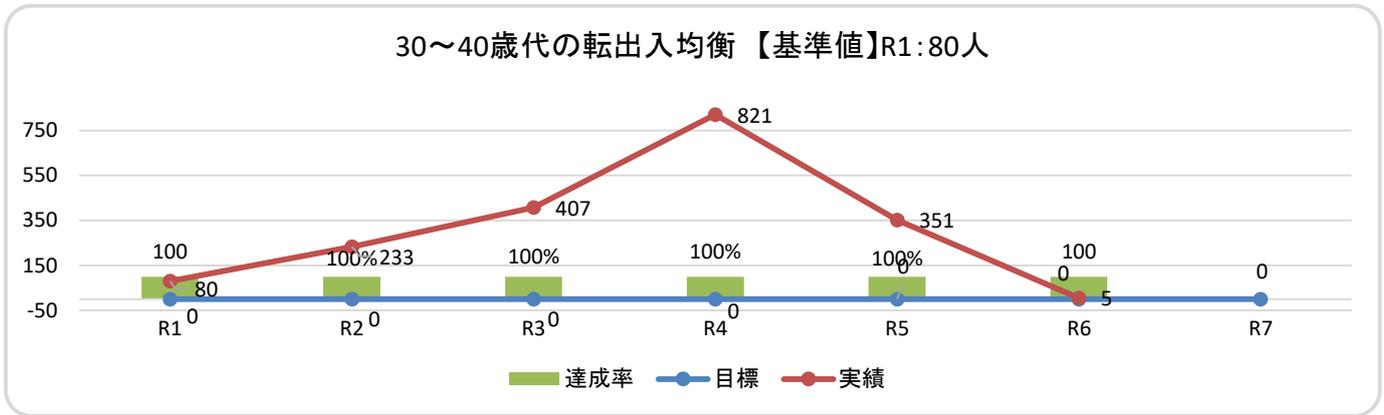
その1 産業基盤を整備する	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①農地サポート事業の実績	6.2	2.5	6.1	2.8	6.7	6.0		ha
②製造業事業所数(従業者数4人以上の事業所)	253(H30)	248(H31)	237(R2)	224(R3)	224(R3)	224(R3)		事業所
その2 経営基盤を安定・強化させる	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①市内卸売業・小売業の年間商品販売額	5,209(H28)	5,209(H28)	5,209(H28)	5,217(R3)	5,230(R3)	5,230(R3)		億円
その3 雇用を創出し、就労支援を充実する	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①市内事業所従業者数	114,497(H26)	104,000(H28)	104,000(H28)	116,328(R3)	116,328(R3)	116,328(R3)		人
②就職応援フェア若年者参加者数	101	92	48	65	115	78		人
③就労チャレンジ支援事業による就職者数	148	108	111	110	111	119		人
④若年層人口に占める転出数の割合 ※値の削減	17.3	16.4	16.2	16.4	16.7	16.4		%

令和6年度所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗管理表

戦略方針(3)みんなの安心をUP

【基本目標】すべての子どもたちが尊重され、たくましく健やかに成長できるような環境を整備します

戦略指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
30～40歳代の転出入均衡(住民基本台帳人口移動報告)	目標	0	0	0	0	0	0	0	人
	実績	80	233	407	821	351	5		人
	達成率	100	100	100	100	100	100		%



【重要業績評価指標(KPI)】

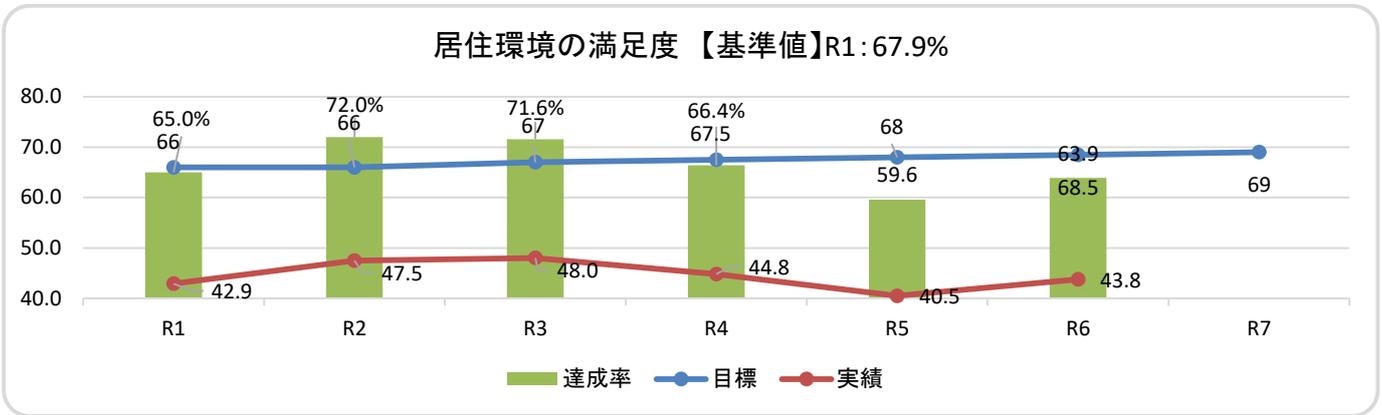
その1 子どもの育ちへの支援を充実する	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①就学前児童の保育待機児童数	14	2	3	33	53	6.0		人
②児童生徒の確かな学力の伸び(埼玉県学力・学習状況調査)	2.0	中止	2.0	2.4	1.7	1.8		レベル
③新体カテストにおける上位ランクの生徒の割合(中学生)	87.3	中止	83.6	81.8	82.0	82.6		%
その2 子どもが幸せに過ごせる環境をつくる	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①所沢市子ども支援センターの利用者数	108,712	56,242	61,574	69,224	88,945	87,801		人
②児童クラブ及び児童館生活クラブ利用料の助成件数	613	632	626	655	638	706		件
その3 子どもと“みんな”がつながる	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①妊婦健康診査の受診率	94	94	96.7	97.6	95.6	95.9		%
②地域子育て支援拠点施設の利用者数	248,614	96,463	129,668	156,545	198,893	205,462		人

令和6年度所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗管理表

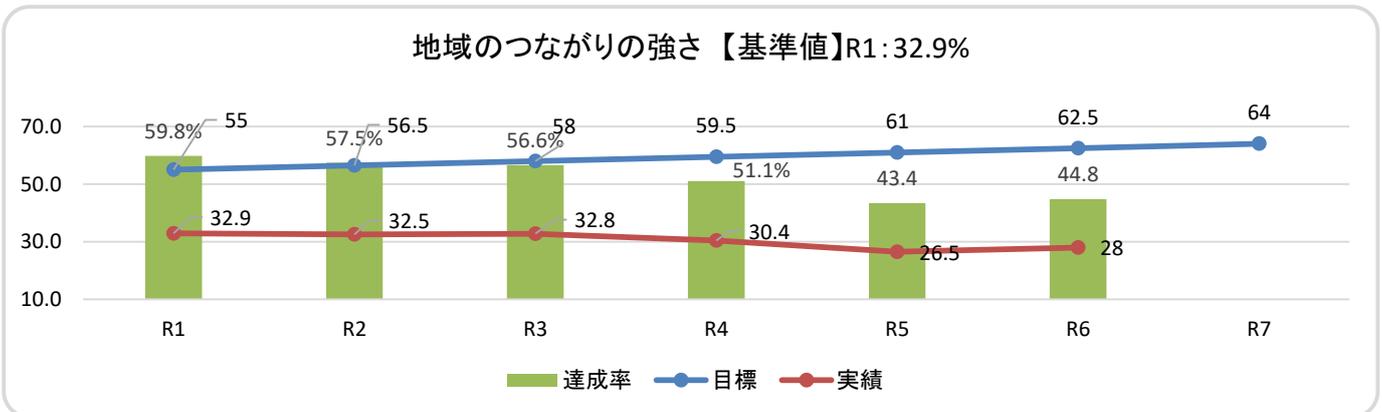
戦略方針(4)暮らしやすさをUP

【基本目標】安心・安全で暮らしやすく、市民に快適な生活を提供できるまちを目指します

戦略指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
居住環境の満足度 (市民意識調査)	目標	66	66	67	67.5	68	68.5	69	%
	実績	42.9	47.5	48.0	44.8	40.5	43.8		%
	達成率	65.0	72.0	71.6	66.4	59.6	63.9		%



戦略指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
地域づくりに関する施策 の満足度 (市民意識調査)	目標	55	56.5	58	59.5	61	62.5	64	%
	実績	32.9	32.5	32.8	30.4	26.5	28		%
	達成率	59.8	57.5	56.6	51.1	43.4	44.8		%



【重要業績評価指標(KPI)】

その1 地域の絆づくりを大切にする	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①自主防災組織数	215	215	214	214	214	214		組織
②犯罪発生件数 ※値の削減	2,448	1,932	1,657	1,656	1,944	1,952		件
③地域づくり支援事業への地域住民の参加人数	130,995	40,496	57,703	99,544	113,856	95,139		人
④自治会等への加入世帯数	98,026	96,973	96,352	95,209	93,818	92,698		世帯
その2 快適な交通環境を提供する	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①都市計画道路の整備状況	71.2	72.2	72.3	72.3	72.3	73.5		%
②生活道路の整備推進	723	1854	2,027	2,844	3,444	4,246		m
その2 快適な交通環境を提供する	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①「第2次所沢市保健医療計画」の策定・推進	策定	推進	推進	推進	推進	推進		
②健康寿命の順位(男・女)	4(H30)	8(R1)	9(R2)	12(R3)	10(R4)	14(R5)		位
	11(H30)	14(R1)	17(R2)	15(R3)	15(R4)	13(R5)		位
③「トコトコ健幸マイレージ事業」の参加者の1日平均歩数	8,071	7,242	7,029	7,201	7,231	6,374		歩
④こころの健康講座等の参加者数	3,334	2,898	3,343	3,099	3,505	3,626		人

# 第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

重点プロジェクト	(1)「COOL JAPAN FOREST構想」の推進
----------	-----------------------------

令和7年度までの具体的な取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ところざわサクラタウンを中心にした地域一体的なエリア構築（東所沢駅周辺、所沢市観光情報・物産館「YOT-TOKO(よっとこ)」、東所沢公園等）</li> <li>・県や周辺自治体と連携した観光・文化事業等の実施</li> <li>・観光コースの設定等による国内外観光客の受入れ体制の整備</li> <li>・観光客をターゲットにした観光物産品の開発（狭山茶などの特産品を活かす）</li> <li>・市内各スポットとの連動性を高め「埼玉ダイレクト」を実現する交通アクセスの構築</li> <li>・重点推進エリア「COOL JAPAN FOREST」への先端産業の誘致</li> <li>・構想の浸透を図るための啓発及び情報発信（各種メディアの活用）</li> </ul>
進捗状況	概ね順調に進行している

## 令和6年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットやイベント出展、出前講座等による啓発を行い、市民等に対する構想の周知を図っている。</li> <li>・所沢駅周辺及び東所沢エリアは、開発や緑地確保の具体的活動が進行している。民間企業や関係団体との連携のもと、様々な情報発信の手法を活用し、所沢市及び所沢ブランドの認知度向上に貢献している。</li> <li>・農商工連携推進事業や所沢ブランド特産品創出支援事業、地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業、ふるさと納税返礼品の再開等を活用して地元農産物等を使った地域ブランドづくりを進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ところざわサクラタウンの認知度が高まっているものの、構想の周知が停滞している。</li> <li>・市外において構想をはじめとする所沢市の魅力PRが不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果創出期の取り組みとともに、引き続き出前講座や出展等により構想の周知・啓発を行う。</li> <li>・更なる本市地域・経済の活性化やにぎわいを創出し、文化の創造と発信等に取り組むことにより、都市イメージの向上を図っていく。</li> </ul>
物産館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢市観光情報・物産館を、本市の観光資源や特産品等の魅力発信拠点として、指定管理者とともに適正かつ円滑に管理運営及び活用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の認知度が低く、観光情報の発信や特産品等の販売が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部出店やSNS等を活用して情報発信を行い、本市の観光情報の発信を強化し、旅行商品の造成等市内の回遊性の向上やまちのにぎわいを創出する取組を行う。</li> </ul>
交通政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢市内循環バス東路線（柳瀬コース）について、YOT-TOKOへの乗入れを開始した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東所沢周辺のまちづくりを着実に進めながら、都市高速鉄道12号線延伸促進協議会を中心に12号線の延伸活動を一層促進する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き交通政策を含む魅力あるインフラ整備を促進していく。</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾現地旅行会社に対して、本市の観光情報を提供する等して、本市が旅行商品に組み込まれるよう促進した。</li> <li>・所沢市観光ガイドブック（多言語版）の増刷、多言語対応の観光案内板及び道標の設置により、外国人観光客の受入れ体制の整備を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ところざわサクラタウンを訪れる外国人観光客の団体ツアーは定数あるが、市内の他の観光施設への誘客につながっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客の更なる誘致を進めるため、海外市場に対する旅ナカでの情報発信を行う。</li> <li>・外国人観光客の満足度を向上させるため、市内における外国人観光客の受入れ体制整備を進める。</li> </ul>

# 第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

重点プロジェクト	(2)「産業用地創出」による産業振興
----------	--------------------

令和7年度までの具体的な取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三ヶ島工業団地周辺地区について、組合が行う道路や調整池等の整備への支援</li> <li>・関越自動車道所沢IC周辺地区について、組合設立準備会の結成及び事業協力者の選定の支援</li> <li>・企業誘致に向けた産業用地情報の効果的な発信や立地相談</li> <li>・企業立地支援奨励金制度の活用による支援</li> </ul>
進捗状況	順調に進行している

令和6年度の取り組み			
項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
区画整理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年10月に市街化区域へ編入するとともに、組合設立を認可した三ヶ島工業団地周辺地区については、組合が行う道路や調整池等の整備に対し、支援を行った。</li> <li>・関越自動車道所沢IC周辺地区については、具体的な検討を進めるため、組合設立準備会の結成に向けて、関係する地権者からの仮同意書の収集に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業団地の創出に向けては埼玉県等関係機関との協議を整える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三ヶ島工業団地周辺地区について、組合が計画的に事業が進められるよう支援を行う。</li> <li>・関越自動車道所沢IC周辺地区について、埼玉県等との協議に取り組む。</li> <li>・松郷工業団地周辺地区の産業団地創出に向けた手法を研究する。</li> </ul>
企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県主催の企業立地セミナーin東京に参加し、三ヶ島工業団地周辺地区に創設される産業団地の情報提供を行った。</li> <li>・東京商工会議所の機関紙「東商新聞」への企業誘致支援策の広告掲載を行ない情報発信に努めた。</li> <li>・市内の金融機関のうち営業基幹店を訪問して、他支店などで拡張移転などを考えている取引先への働きかけの協力依頼を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、市内へ立地を促す取り組みが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三ヶ島工業団地周辺地区区画整理組合及び業務代行者と情報共有・連携することで、市内企業の拡張移転や市外企業への誘致を進める。</li> <li>・本市の特性や企業立地奨励金等の支援策等のPRを行い、企業誘致を進める。</li> </ul>

# 第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

重点プロジェクト	(3)「所沢駅周辺」の開発とまちの活性化
----------	----------------------

令和7年度までの具体的な取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業(所沢駅西口地区、北秋津・上安松地区)の推進</li> <li>・都市計画道路(所沢駅ふれあい通り線、中央通り線)の整備</li> <li>・歩行者ネットワークの整備による回遊性の創出</li> <li>・居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成</li> </ul>
進捗状況	順調に進行している

## 令和6年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
所沢駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢駅ふれあい通り線道路築造事業では、アンダーパス部分の構造物を整備する工事を実施した。また、所沢駅ふれあい通り線と西武池袋線及び新宿線との立体交差化事業の施行に関する協定書に基づき、西武鉄道株式会社が協定工事を行った。</li> <li>・「所沢駅周辺まちづくり連絡協議会」を開催し、駅周辺の回遊性の創出や大型商業施設と既存商業との連携等について意見交換を行った。また、歩行者ネットワーク形成に向けた各歩行者デッキを整備する工事を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者デッキが整備され、大規模商業施設への人の流れが大幅に増えた一方、駅周辺の回遊者数は想定よりも増えていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢駅西口土地区画整備事業及び所沢駅ふれあい通り線については、権利者の理解を得ながら事業の早期完了を目指す。</li> <li>・所沢駅周辺のにぎわい創出を図るため、居心地がよく歩きたくなるようなまちづくりの形成に向けた基盤整備を進める。</li> </ul>
北秋津・上安松	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合が行う道路や調整池等の整備に対し、支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合が計画的に事業を進められるよう調整を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合が令和8年度完了を目指していることから、引き続き支援を行う。</li> </ul>
所沢東町周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢東町地区第一種市街地再開発事業では、令和4年1月に施設建築物の建築工事が、令和5年3月末に事業区域内の道路整備工事が完了した。そして、令和6年8月に組合が解散し、事業が完了した。また、拡幅整備された都市計画道路の歩道空間でところざわまつりをはじめとしたイベント等の開催に協力した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢駅周辺の賑わいの創出を図るため、拡幅整備された都市計画道路の歩道空間を積極的に活用していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の歩道空間を地域の自治会や商業団体等に積極的に貸出しを行っていく。</li> <li>・また、ファルマン通り交差点周辺の無電柱化工事を行うことにより、災害時の通行の確保、歩行者の安全で快適な空間の確保や賑わいの創出を図る。</li> </ul>
元所沢交差点周辺から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共空間を活用していくため、公共空間を所管する部署を中心に、事業の趣旨の共有や公共空間の利活用に向けた庁内連携勉強会、②先進都市の行政職員を招き、その立場からエリプラの意義やこれまでの取組についての勉強会、③ステークホルダー・プレイヤーを交えた勉強会を実施した。またTokorozawa Design Walk期間中、野老澤町造商店にこれまでの取組の展示や職員による街歩きを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民が連携していく組織(エリアプラットフォーム)の設立に向け、地元への説明、ステークホルダーへのヒアリング、庁内連携を進めていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が主体となるエリアプラットフォームが自立・自走していける仕組みづくりを目的に、市民ワークショップやステークホルダーへのヒアリング、庁内連携勉強会などを実施していく。</li> </ul>

# 第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

重点プロジェクト	(4)「水とみどりがつくるネットワーク計画」の推進
----------	---------------------------

令和7年度までの具体的な取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山保全地域や市民の森などのみどりの保全</li> <li>・狭山丘陵の魅力の発展・向上などのにぎわい創出</li> <li>・水辺の保全や散策路整備など、みどりとにぎわいをつなぐ</li> <li>・みどりを楽しく散策する仕組みの構築</li> <li>・みどりの魅力の効果的な発信</li> </ul>
進捗状況	順調に進行している

## 令和6年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
みどりの保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域制緑地は三ヶ島一丁目里山保全地域の指定を行い、北野南二丁目里山保全地域外2件の指定拡大を行った。</li> <li>・「くぬぎ山特別緑地保全地区」「三ヶ島一丁目里山保全地域」内等の土地19,910㎡を取得及び寄附受入れにより公有地化した。</li> <li>・新所沢保育園、吾妻保育園、西所沢保育園、松郷保育園の園庭の芝生の維持管理を進めた。</li> <li>・上山口地内の水田のうち6筆について耕作、田植え、稲刈り等保全管理を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地は相続や開発等により消失の恐れがある。</li> <li>・緑地購入のための財源確保が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山保全地域などの地域制緑地の指定を進め、特に保全が必要な緑地は公有地化を図る。</li> <li>・「ふるさとの川再生事業」については、市ホームページなどにより周知を図り協力団体を募るなど、更なる事業の推進を図る。</li> </ul>
計画・散策路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内調整会議「みどりとコトコ・プロジェクト会議」を開催し、事業の状況確認と関係課間の情報共有を行い進展を図った。</li> <li>・本計画を構成する砂川堀沿いの散策路整備に伴い、北野三丁目地内の水路測量及び三ヶ島三丁目地内の用地取得を行った。散策路を72.3m延伸させた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭山丘陵の魅力を高めるため、散策用トイレの設置や案内板、道標の整備を進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を推進するため、庁内調整会議「みどりとコトコ・プロジェクト会議」を定期的に開催し、事業の進捗状況を確認していく。</li> </ul>
啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりのふれあいウォークを実施し、1,451人の参加があった。</li> <li>・みどりのカーテンコンテストや、生物多様性に関する展示等による啓発を行ったほか、自然や生きものに親しむ機会を創出するため、カブトムシ等の昆虫類を繁殖するための落ち葉プール等を5か所の緑地に設置した。</li> <li>・みどりのパートナー活動を推進し、登録者は1,592人となった。</li> <li>・みどりのパートナーへの情報提供や補助金等の支援のほか、新規受講者の技能向上のためのみどりのパートナー育成講座初級編を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりを活用した啓発事業の充実を図るとともに外国人等を含めた来訪者に対する受入体制整備が必要である。</li> <li>・近隣市等との連携による豊かな自然を活かした魅力発信が必要である。</li> <li>・みどりのパートナーをはじめとする自主的な市民活動への支援とともに市民活動の拡大に向けた仕組みづくりが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きみどりのふれあいウォークの実施等、啓発事業を進めていく。</li> <li>・みどりのパートナー活動推進のため、支援制度の充実を図り講座の開催や緑地管理のアドバイス等を行っていく。</li> </ul>

# 第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

戦略方針	(1)まちの魅力をUP
------	-------------

基本目標	<p>所沢市の魅力を高め、住み続けたいまち、訪れたいまちを目指します</p> <p>本市は、都心から30kmに位置しているなかで、豊かなみどりや農産物に恵まれており、都会と田舎が程良く混在した地域です。</p> <p>このような市域の特性や市が持つ資源を機能・調和・融合させて、「所沢ブランド*」による効果的なPRを進めながら、まちのにぎわいを創出し、経済の活性化を進めます。</p> <p>また、人と自然と文化が調和したまちづくりを進め、人々が集い・憩い・安らぎを感じる住み続けたいまちを目指します。</p>
進捗状況	概ね順調に進行している

## 令和6年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野老澤町造商店との連携、新規創業支援推進事業等を実施している。</li> <li>・所沢市ロケーションサービス事業やイメージマスコット「トコロん」等を通じ、所沢を市内外にPRした。また、FacebookやトコロんのX(旧Twitter)を活用し情報を発信した。</li> <li>・企画展示「弟と姉一俳優・左ト全と歌人・三ヶ島葎子一」、所沢市文化財展、ところざわ埋文まつり等を開催し、「ふるさと所沢」の歴史文化の魅力を発信した。</li> <li>・公民館事業を通じて市民の学習活動を支援するとともに、施設提供や施設整備を通じて地域住民の学びを支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後見込まれる人の流れを市域全体に広げていくための方法を検討する必要がある。</li> <li>・市外に対する情報の伝達が十分でない。</li> <li>・市民生活や意識が変化する中で、地域の協力者の発掘・地域住民と連携した事業の実施・地域の特性を生かした事業展開により、公民館活動をひとつりまちづくりに繋げていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢市の観光資源の魅力をSNS等を活用し効果的に発信していく。</li> <li>・国の登録有形文化財「秋田家住宅」の整備・活用に、地域社会総がかりで文化財の保存活用に取組んでいくための「所沢市文化財保存活用地域計画」の作成、郷土資料等収蔵施設の整備など、文化財等の保護と活用に努める。</li> <li>・地域住民のニーズを捉え魅力ある事業を実施することで、住民が地域活動に参加する機会となるよう、地域のネットワーク形成に努める。</li> <li>・地域住民が企画や運営に主体的に関わるような公民館事業も実施しながら、地域活動の人材を育成していく。</li> </ul>
イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサートの開催、「音まち」推奨制度の実施等により、「音楽のあるまちづくり」を推進した。</li> <li>・所沢航空資料調査収集する会と連携し、所沢航空記念公園で行われたイベントで航空発祥の地のPR活動をおこなった。また、「フランス航空教育団と日仏交流」次の100年事業として、日仏交流史研究者であるクリスチャン・ポラック氏をお招きし、短編映画の上映会と講演会を開催するとともに、市民への貸出(DVD・BD)を実施開始した。</li> <li>・各イベントの再開に伴って観光協会と連携して出店参加した。</li> <li>・第45回所沢市民フェスティバルは、約23万人の来場者があった。開催当日は、市内の高校・大学をはじめとした多くの団体に当日ボランティアとして協力を得ながら、安心・安全に配慮した運営を行なった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推奨された音楽コンテンツを、その情報を欲する市民等へ着実に届かせる必要がある。</li> <li>・各イベントの再開が見込まれることから所沢の魅力を発信するため参加していく。</li> <li>・中心市街地のみならず市域全体でにぎわいが創出されるよう支援していく必要がある。</li> <li>・人件費・物価の上昇が続いており、設営・警備・清掃等の委託業務における費用が高くなってきている。安定的かつ継続的な運営のため、財政面の強化が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「音まち」特設サイト・SNSでの情報発信を強化する。</li> <li>・フランス航空教育団来日100周年記念イベントで連携した関係団体等との関係を深め、短編映画「飛行場のまち～所沢からはじまる物語～」活用しながら「航空発祥の地所沢」を市内外にPRしていく。</li> <li>・観光協会などの関係諸団体と連携して所沢の魅力をPRしていく。</li> <li>・所沢市の魅力の発信のため、今後は、これまで40年以上にわたり積み上げてきたイベントとしての魅力を残しつつも、時代を捉えた新たな魅力を創出していくことで、来場者が「所沢の今」を体感・体験できる場となるようイベントの充実を図っていく。</li> </ul>
国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ティエーネ市からの訪問団の受入れを予定していたが、相手側の都合により延期となった。</li> <li>・オンラインで、ティエーネ市担当者と打合せを行い、今後の交流内容について、検討を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ティエーネ市との今後の交流について、具体的な内容を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ティエーネ市の訪問団を本市に受け入れるとともに、都市間交流を進めていく。</li> </ul>
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パリ2024オリンピック・パラリンピック開催に伴い、所沢市にゆかりのある選手の壮行会や凱旋パレード、凱旋報告会を行った。応援を通じて競技の啓発を図り、第3次スポーツ推進計画の施策の一つである「みる」スポーツを推進した。</li> <li>・新たに「所沢市スイミングフェスティバル」を開催し、水泳競技を通じたスポーツ振興を図った。</li> <li>・所沢市ゆかりのアスリートを認定し、その活躍を応援することでスポーツを身近に感じる機運の醸成を図った。</li> <li>・地域力活用事業として、西武ライオンズ・所沢グリーンベースボールと連携し、親子ティーボール教室、所沢市スポーツ少年団と連携し、所沢市小学生持久走大会、西武ライオンズと連携し、学校へ訪問するベースボールチャレンジ、さいたまフロンコスと連携し、学校へ訪問するふれあいキャラバンを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次所沢市スポーツ推進計画の基本理念「市民の誰もが、スポーツにふれ、スポーツで笑顔があふれるまち」に基づき、スポーツに親しむ機会を創出し、スポーツを楽しむ市民を増やす。</li> <li>・さらなる地域の人材、団体、企業との連携を確立していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次所沢市スポーツ推進計画の基本理念「市民の誰もが、スポーツにふれ、スポーツで笑顔があふれるまち」に基づき、スポーツを「する」「みる」「ささえる」という多角的に楽しむ機会を創出し、スポーツを楽しむ市民を増やしていく。</li> <li>・ロス2028オリンピックパラリンピックに向けて機運醸成を図る。</li> <li>・ゆかりのアスリートの情報発信をSNS等を活用して積極的な情報提供を行い、報告会や講演会を通じてスポーツに触れる機会を増やす。</li> <li>・地域力を活用し、更なるスポーツにふれる機会を拡大していく。</li> </ul>
農産物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品評会、販売会、収穫体験等を通じ、生産者と消費者の交流を図り相互理解を深めることで地産地消を推進した。</li> <li>・茶香炉を公共施設に設置するとともに各種イベントで活用することで狭山茶の魅力をPRした。</li> <li>・本市ブランド品のさといもの安定した生産と品質向上を目指すため、さといものを生産する農業者等へ補助金を交付した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちのにぎわい創出の一環として、農業者・農業団体等との協力を得ながら、自主イベントの企画・運営、他自治体等のイベントへの参加等を積極的に進め、所沢農産物をPRしていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業祭や収穫体験の開催、所沢市農産物直売所ガイドマップや地産地消レシビの作成、とことこ市の開催支援、体験農場の管理・運営等を継続して行っていくことで、所沢農産物の魅力をより多くの市民等へ伝え、消費の拡大及び地産地消の推進を図る。</li> </ul>

# 第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

戦略方針 (2)産業の力をUP

基本目標	<p><b>産業や雇用を創出し、就業者数の増加を目指します</b></p> <p>都市へのアクセスがしやすい本市は、首都近郊都市として発展してきた一方で、世界に名だたる工業製品を生産する企業も存在しています。</p> <p>地域の活力の基礎となる、そのような個性豊かで競争力のある企業の発展を支援するとともに、地域で安心して働くことのできる、仕事と家庭の両立がしやすい環境づくりを行います。</p>
進捗状況	概ね順調に進行している

## 令和6年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学識経験者・国・県・各産業関連団体等を委員とした「所沢市産業振興ビジョン推進会議」を開催し、所沢市産業振興ビジョン《後期アクションプラン》の進捗管理を行なった。</li> <li>・埼玉県主催の企業立地セミナーin東京に参加し、三ヶ島工業団地周辺地区に創設される産業団地の情報提供を行った。</li> <li>・東京商工会議所の機関紙「東商新聞」への企業誘致支援策の広告掲載を行ない情報発信に努めた。</li> <li>・市内の金融機関のうち営業基幹店を訪問して、他支店などで拡張移転などを考えている取引先への働きかけの協力依頼を行った。</li> <li>・企業立地支援奨励金6件、都市型産業等育成補助金4件を交付した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画内容の点検・評価を適宜行い、必要に応じて見直しを行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢市産業振興ビジョン《後期アクションプラン》の進捗管理を行いながら必要な施策を行う。</li> <li>・工場等の新設や拡張について、引き続き企業立地等奨励金や都市型産業等育成補助金により支援を行う。</li> <li>・所沢市における地域経済動向調査等を継続し、市内経済の課題等を把握し、施策検討を行う。</li> </ul>
商店街	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街空き店舗の活用を行い、商店街の活性化を図った。</li> <li>・市内商店街の取組に対し補助金を交付し、地域・経済の活性化を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗の活用については、単に商店街に加入するだけではなく、商店街自体の活性化に向けて新たな担い手候補となるようつなげていく必要がある。</li> <li>・商店街の後継者が見つからず、活動が縮小、停止する事例があり、持続的な商店街を実現する方法を模索する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も商店街の空き店舗を活用した新規創業の促進とともに、商店街活動への参加を図る。</li> <li>・市内商店街の活性化を図るため、商店街の取組に対し、補助事業を行う。</li> </ul>
農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業への新規参入者に対して、経営の早期安定化を図るため、新規就農者や新規に参入する農業法人に対して農地賃借等に係る費用の一部を補助した。</li> <li>・新規就農者に対して、経営資金や機械施設の導入に係る費用の一部を補助した。</li> <li>・経営改善を図るため、認定農業者に対して、機械購入等に係る費用の一部を補助した。</li> <li>・地場産農産物の学校給食への活用を推進した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興に当たっては、担い手育成や農業経営を合わせた継続的・総合的なサポートを進める必要がある。</li> <li>・学校給食への地場産農産物の使用率を上げるには、農産物の提供側、活用側の双方の理解をさらに深める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者へ充実したサポートを行うため、農地サポート事業の一層の周知を図り、農地の集積化及び集約化を促進する。</li> <li>・農業経営基盤の強化を図るため、新規就農者や認定農業者等への補助事業等を継続的に実施する。</li> <li>・農業経営等の一助となるよう、先進的な取組の実践者を招いた講演会を実施する。</li> <li>・関係者間において、学校給食に使用する農産物の形状、納品方法、量の割当、使用時期、取りまとめ等について協議・調整を継続的に実施する。</li> </ul>
労働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉しごとサポート事業や就労チャレンジ支援事業など、若者及び女性並びにシニア等の就労支援に取り組み求職者の支援をした。</li> <li>・中小企業で働く従業員と事業主の福祉の向上を図るため、所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターの円滑な運営を支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層を中心とし、様々な世代に即した就労支援の拡充を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県と埼玉しごとサポート事業を実施し、若者、女性、中高年、シニアを対象とする就職支援セミナーを行うとともに、引き続き就職相談を行う。</li> <li>・国との一体的な取り組みとしてハローワーク所沢と共同で「就労チャレンジ支援事業」を実施し、生活困窮者及び若年者等の就職を支援する。</li> <li>・中小企業勤労者への福利厚生事業を推進するため、中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営事業を支援する。</li> </ul>

# 第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

戦略方針	(3) みんなの安心をUP
------	---------------

基本目標	<p><b>すべての子どもたちが尊重され、たくましく健やかに成長できるような環境を整備します</b></p> <p>核家族化の進行や地域のつながりが希薄化する中で、人への優しさや思いやり、家族の絆を深めることが必要です。</p> <p>市の宝である子どもたちが健やかに育つために、子育てについての第一義的な責任を有する保護者が、安心して子育てができ、子育てに喜びや生きがいを感じることができる環境の整備を行うとともに、家庭・事業者・行政はもとより、すべての市民が「市の宝」である子どもたちの幸せを願い協力し合える、地域・社会全体の仕組みづくりに努めます。</p> <p>そして、子どもたちが変化の激しい社会を生き抜くために、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育成することができる教育環境を創り、「学ぶなら所沢」といわれるまちを目指します。</p>
進捗状況	概ね順調に進行している

## 令和6年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トコロん学力向上プロジェクト事業では、「認知能力の向上」「非認知能力の育成」「言語活動の充実」を3つの柱とし、特別指定研究校4校、基礎研究校15校で、子どもたちの「未来を切り拓く力」の育成に向けた研究を推進した。</li> <li>・教師一人一人が力をつけ、学校力を高め、子どもの「生き抜く力」を育む学校力向上プログラムを行った。</li> <li>・児童生徒の自己肯定感を高め命の大切さを考える「心のエネルギープロジェクト」について、全ての学校で年間計画を策定した。「今、あなたがここにいること」というメッセージと映像資料の活用を工夫しながら、各校の実態に合わせた取組を行った。</li> <li>・いじめ問題や不登校などの課題に対応するため、市費スクールカウンセラーや心理士、スクールソーシャルワーカー等による相談活動の充実を図るとともに、教育相談アドバイザーから支援いただき、学校の対応力や組織力を高めた。また、いじめ問題対策委員会の指導や助言を受け、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応に努めた。</li> <li>・「いじめ未然防止プログラム」の構築に向けて、小学校2校と中学校1校の協力校とともに研究を進め、アンケートツールを活用することによる授業プラン等を作成した。</li> <li>・令和6年度の児童受入れに備え、民設民営児童クラブを1クラブ(2支援単位)新設し、また別の民設民営児童クラブを1支援単位増やし放課後児童健全育成事業の充実を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を更に進め、</li> <li>・新しい時代に求められる資質・能力である言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の育成のため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る必要がある。</li> <li>・全ての子どもたちの可能性を引き出す令和の日本型学校教育を研究し、誰一人取り残すことのない教育を実践していく必要がある。</li> <li>・いじめや不登校などの課題は複雑化・多様化している。他機関とも連携し、1人1人に寄り添った丁寧な対応が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予測不可能と言われる時代の中で、児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、確かな学力の育成の取組を進める。</li> <li>・引き続き、各相談員による相談活動や教育相談アドバイザーによる支援を充実させ、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応に努め、児童生徒の健やかな心の育成を図っていく。</li> <li>・市内小中学校3校へいじめ未然防止の研究を委託し、所沢市いじめ未然防止プログラムの策定を進めている。</li> <li>・生命を尊重し、すべての児童生徒にとって過ごしやすい学校となるよう「心のエネルギープロジェクト」を推進し、教員の授業力や学級経営力を高め、児童生徒の自己肯定感を育むことで、主体的に生き抜く力を育成していく。</li> <li>・様々な手段を活用することにより放課後児童健全育成事業の充実を図る。</li> </ul>
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども支援センターでは、親子が交流できる広場の提供、子育て情報の発信や子育て相談を行う子育て支援事業と、発達障害の相談、親子教室、講演会等を行う発達支援事業を実施した。</li> <li>・なお、子育て支援と発達支援の機能が併設していることを活かし、各事業が連携しながら多様な子育て相談、必要に応じた適切な早期療育へ繋ぐ支援を実施した。</li> <li>・ところっこ子育てサポート事業では、保育士が育児相談や保育園・幼稚園等の入園、地域子育て支援施設の案内を子ども支援窓口と子ども支援センターで実施し、身近な立場で支援した。</li> <li>・令和6年4月に「こども家庭センター」を開設し、妊娠期から出産・子育て期にわたり切れ目ない相談支援を行った。</li> <li>・産後ケア事業「宿泊型・デイサービス型」を実施し、産後の母子へ継続的支援を図った。</li> <li>・産後ケア事業実施施設の安全管理をより一層推進するため、ベビー呼吸センターの導入などの経費に対し補助を行う「産後ケア事業実施施設安全管理推進事業補助金」を新設し、実施施設における安全管理体制の推進を図った。</li> <li>・保護者の疾病や育児疲れ等により、一時的に家庭での養育が困難となった場合に、子育てサポーター宅で子どもを預かる子育て短期支援事業を実施し、子育て家庭への支援を図った。</li> <li>・妊娠、出産、子育てに関する情報をまとめた「ところっこ子育てガイドブック」を発行し、情報発信に努めた。</li> <li>・出産・子育て応援事業の申請に公式LINE「こども・若者情報チャンネル」を活用することで子育て世帯との接点を確保し、子育て家庭に向けた情報発信を行った。</li> <li>・三世帯同居を進める施策に関する事業について市ホームページに掲載し周知を図った。</li> <li>・こども家庭センターにおける1歳6か月児健康診査受診後に、絵本の読み聞かせにより、親子のふれあいの大切さを伝え、地域の子育て支援施設や図書館で交換できる絵本の引き換えチケットを配布することで、施設の利用につなげた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の声を踏まえながら、よりよい支援につなげていく必要がある。</li> <li>・子育てに関する相談内容が多岐にわたるため、関係機関との連携をより一層充実していく必要がある。</li> <li>・子育て支援の更なる強化が必要である。</li> <li>・子育て家庭が孤立しないために、地域の子育て支援施設等に、より多くの家庭をつなげていくことが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべてのこどもが生まれた環境によって左右されることなく健やかに成長するための各事業の充実を図る。</li> <li>・子ども支援センターの子育て支援事業について、親子が気軽に交流や相談できるよう、支援の充実を努める。</li> <li>・同センターの発達支援事業について、専門職による相談支援、通所支援、地域支援を充実させ、発達障害の早期支援を行う。</li> <li>・所沢市こども計画に基づき、子育て環境のさらなる充実を図る。</li> <li>・産後の母子の心身のケアや、育児サポートを受けられる産後ケア事業の拡充を図る。</li> <li>・ヤングケアラーを含め、子育てに困難を抱える家庭に対する相談・支援の充実を図る。</li> <li>・様々な相談に対応するため、多職種・多機関での支援が必要であり引き続き連携強化を図る。</li> <li>・地域での子育て支援体制の充実を図る。</li> </ul>

# 第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

戦略方針 (4) 暮らしやすさをUP

基本目標	<p><b>安心・安全で暮らしやすく、市民に快適な生活を提供できるまちを目指します</b></p> <p>震災や異常気象といった被害により、地域の安全に対する意識が大きくなっているため、安心で安全なまちが求められています。</p> <p>人と人が絆を紡ぎ、助け合いの心を育むことができるよう、コミュニティや住民活動を支援しながら、防災力・防犯力・地域力の強いまちを目指します。</p> <p>また、人と環境に優しく、安全・円滑・効率的な道路・交通機能の確保と向上を目指すとともに、災害時にも、機能を維持できる重要インフラ整備や良好な住環境の形成を進め、市民の暮らしやすさの向上に努めます。</p> <p>さらに、必要なときに必要な医療を受けられるよう、医療体制の充実を図ります。</p>
進捗状況	概ね順調に進行している

## 令和6年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢市自主防災会連合会の市民フェスへの出展を事務局として支援し、啓発活動を行った。</li> <li>・地域づくり協議会への交付金の交付などを通じて、それぞれの地区の特性に応じた主体的な活動の支援を行った。</li> <li>・自治会・町内会への加入促進を行った。(啓発パンフレット配布、所沢市自治連合会共催での加入促進ポスター展、広報ところざわでの市内11地区の活動紹介等)</li> <li>・集会施設の新築、修繕や維持管理の費用助成による活動拠点の整備を行った。</li> <li>・避難行動要支援者名簿を作成し、自治会・町内会長、民生委員に配布した。</li> <li>・自主防犯団体に対し、活動状況のアンケート調査や、防犯資機材の貸出、防犯指導者養成講座を実施した。</li> <li>・わんわんパトロール登録者数が1,986名に達した。</li> <li>・空き家の適正管理に関する条例に基づき所有者に指導した結果、令和6年度は過年度分の相談分を含め158件解決した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化や担い手不足等により、行事等の開催に苦慮している様子が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織、自治会・町内会と協働して、家具の転倒防止策や食料の備蓄の必要性を啓発していく。</li> <li>・自主防犯団体の活動状況を把握し、必要な支援を行う。</li> <li>・地域活動が円滑に開催できるよう、地域の団体の運営や活動の相談に応じるなど、その主体的な活動を支援する。</li> <li>・自主防犯団体の活動状況を把握し、必要な支援を行う。</li> <li>・空き家の適正管理に向け、所有者に対して適切な指導を行う。</li> </ul>
道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証運行中の柳瀬地区、富岡地区のところワゴンについて、路線の見直しを行った。</li> <li>・ところバスの運行状況や到着予定時刻を利用者のスマートフォン等に知らせるバスロケーションシステムを導入した。</li> <li>・「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(新座市、清瀬市、練馬区、所沢市で構成)」において、延伸にむけた検討を進めるとともに、東京都、及び埼玉県への要望活動を行った。</li> <li>・都市計画道路北野下富線1工区及び4工区の用地取得並びに工事を進めた。それにより完成した北野下富線1工区及び松葉道北岩岡線の一部を開通させた。</li> <li>・「西所沢駅西口開設整備計画」(平成27年度策定)及び鉄道事業者との基本協定(令和5年9月11日)に基づき、県道の歩道整備用地取得、駅舎の基本設計作成及び住民説明会等を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中心部の慢性的な交通渋滞が課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞解消に向け、主要幹線道路である埼玉県施行の飯能所沢線の建設促進を図るとともに、市内幹線道路のうち優先して北野下富線、松葉道北岩岡線及び所沢駅ふれあい通り線の整備を進める。</li> <li>・柳瀬地区、富岡地区ところワゴンについて、3年間の実証運行の総括を行い、本格運行を目指す。</li> <li>・西所沢駅西口改札口の早期開設を目指し駅舎の実施設計を作成する。また、西口周辺の安全対策についての検討・実施を進める。</li> </ul>
保健・医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所沢市域において、365日、昼間・夜間・深夜のすべての時間帯で小児初期救急診療体制を維持するため、関係医療機関等との調整を図った。</li> <li>・「トコトコ健康マイレージ事業」については、市民が楽しみながら健康づくりを継続できるよう支援するもので、本市の健康増進事業の中心として実施している。令和6年4月にはスマートフォンアプリがリニューアルしたことから、事業の周知や登録方法の案内を実施したほか、ウォーキング促進強化月間の取り組みを行った。また、「トコロんウォーク2024」、「みどりのふれあいウォーク」など各課で実施された様々な事業をイベント参加による市独自ポイント対象事業とした結果、令和7年3月末現在の累計参加申込者数は9,325人となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年「国民健康・栄養調査」の結果によると、歩数の平均値は、この10年間で男女とも有意に減少しており、本市も歩数の減少による健康への影響や、特に高齢者の体力低下が懸念されている。</li> <li>・少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が社会的な課題となる中、一人ひとりが健康を維持する意識を持つことがますます重要になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次所沢市保健医療計画に基づき、市民の健康増進につながる取組を実施し、進行を管理していく。</li> <li>・市民が気軽に始められる歩くことを中心に楽しみながら健康づくりに取り組めるよう、引き続き「トコトコ健康マイレージ事業」を実施していく。</li> </ul>